



2026 年 9 月 1 日

東北^(※1)・四国・千葉県の一部エリア約 1,750 店舗に おにぎり等の製造回数削減の取り組みを拡大 ～2027 年春を目標に全国拡大予定～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：阿久津 知洋、以下「当社」）は、人口減少や高齢化などによるさまざまな社会環境の変化が進む中、持続可能なサプライチェーン構築に向けた取り組みの一つとして、現在北海道エリア約 1,000 店舗を対象に先行実施している商品の製造回数削減の取り組みを、8 月 31 日（月）製造 9 月 1 日（火）納品分より、東北・四国・千葉県の一部エリア^{※1} 約 1,750 店舗に拡大いたします。

当社では物流課題解決に向けた対応を進めており、本年 2 月 9 日（月）からは、セブン-イレブンにおけるオリジナルフレッシュフードのうち、販売構成比の高い商品群であるおにぎり・弁当・サンドイッチの約 60 アイテム^{※2} について、北海道エリアにおける製造回数を、これまでの 1 日 3 回から 2 回に削減しております。

本取り組みにおいては、産学連携による新技術の活用によって、原因菌の特定と汚染経路の調査が可能になり、製造時の衛生レベルがさらに向上したことで、品質・美味しさを維持した鮮度延長が実現し、製造回数の削減につながりました。

取り組みの結果として、「製造効率の向上」「輸送効率の向上」「フードロス削減」「CO2 排出量削減」において想定した効果につながっており、今回、東北・四国・千葉県の一部エリアにおいては、北海道エリア同様に商品供給面で製造効率の低さや長距離輸送、製造工場における雇用面での課題を抱えていることから、対象エリアへの取り組みの拡大に至りました。今後、2027 年春を目標に全国への拡大も検討しております。

これまで当社では環境や社会課題が変わりゆく中で、配送回数の削減やリードタイム延長などに取り組んでまいりました。今後も物流課題の解決に向けて継続した取り組みを進めてまいります。

※1 東北エリアは青森県・秋田県・岩手県・宮城県・山形県、千葉県は房総エリアが対象

※2 北海道エリアにおける 1 月 26 日時点の対象アイテム数

<製造回数の削減について>

■対象カテゴリー 1 日 3 回製造カテゴリーを 1 日 2 回製造（深夜便・午後便）へ集約

主要カテゴリー	オリジナル フレッシュフード	深夜便 AM2～5	午前便 AM8～11	午後便 PM14～17
	おにぎり・弁当 	●	●⇒× ※寿司などはすでに 2回製造対応済み	●
	サンドイッチ 	●	●⇒×	●
	麺類	/		●
	惣菜・サラダ			●
	惣菜パン・菓子パン	●	/	●

※今回の取り組みでは、店舗への総配送回数の変更はございません

※千葉県の一部エリアは、サンドイッチについて深夜便と午前便に集約されます

■対象アイテム 米飯（おにぎり、弁当）・調理パン（サンドイッチ）

<ご参考>

■2026 年 2 月 9 日 ニュースリリース

おにぎり等の製造回数削減の取り組み

～約 60 アイテムを対象に北海道エリアにて 2 月 9 日（月）より開始～

https://www.sej.co.jp/company/news_release/news/2026/202602091330.html

■2026 年 7 月 2 日 ニュースリリース

「作りたてのおいしさ」と「ロス削減」を推進 九州産業大学とセブン-イレブン・ジャパンが『包括的な連携協定』を締結 ～「研究の相互協力」から「学生の教育」まで 4 つの柱で展開～

https://www.sej.co.jp/company/news_release/news/2026/2026007021300.html

以上